

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	渡辺 勉
	全体計画			経費区分	-	内線	3416
事務事業名	4151 市有林維持管理事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	05012200 森林の多面的機能の維持保全と共生						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020107 総務費・総務管理費・市有林管理費					
	事業	010000 市有林維持管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
市有林の適切な管理				市有林の維持管理をすることにより、森林の多面的機能を発揮できる。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
市有林の除間伐 搬出間伐6.34ha、切捨て間伐4.37ha、作業道開設 535m	市有林の切捨て間伐（育成間伐）9.0ha
平成29年度 実績	平成30年度 予定
市有林の除間伐 搬出間伐 4ha、切捨て間伐（保育間伐）2ha、作業道開設 200m	市有林の除間伐 搬出間伐 4ha、保育（切捨て）間伐 2ha、作業道開設 800m
平成31年度 予定	平成32年度 予定
無し	市有林の除間伐 搬出間伐 6ha、保育（切捨て）間伐 3ha、作業道開設 1,000m

指標名	無し				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		4,213	5,740
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	2,547	3,552
	地方債	0	0
	その他	2,333	1,584
一般財源		△667	604
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	714.9	714.9
	嘱託職員	276.6	276.6
	臨時職員	0.0	0.0
	計	991.5	991.5
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		5,204.5	6,731.5

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,867	市有林除間伐事業委託料(搬出間伐、切捨て間伐、作業道開設) 3,867
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	44	長野森林組合賦課金44
その他	302	森林国営保険料302

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	5,465	市有林除間伐事業委託料5,465
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	44	長野森林組合賦課金44
その他	231	森林国営保険料231

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市有財産の適正な管理と地域資源としての間伐材の活用。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市有林の維持管理を行うことで、土砂災害防止機能など、森林の持つ多面的な機能を発揮できる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	間伐材を活用した木材製品（丸太ベンチ）の作製や遊歩道への丸太柵設置などの資源の有効活用につながった。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

植栽木の妨げとなる雑草や灌木（低木）の下刈りや、欠損木、二又木等著しい形質不良木や劣勢木を伐採することで、残存する市有林の健全な育成が図られた。
 今後も引き続き、手入れの行き届いていない林分の森林整備が不可欠である。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
森林の健全育成のほか、間伐材の売払いを行うことができた。		信州の森林づくり事業を活用した間伐を実施し、森林の多面的機能の維持保全に努める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	